

住民と研究者が共に学び 未来へ向けた新しい屋久島学を築きます

Society of Yakushimaology

第30回国民文化祭
かごしま2015

～文化維新は黒潮に乗って～

屋久島学

ソサエティ 第3回大会

黒潮の流れの中にある屋久島の自然環境や伝統文化を見つめ
「南へのまなざし」をキーワードとして
琉球弧の島々と日本列島における屋久島の位置付けから
屋久島とは何かを学びます

2015年11月5日(木)～9日(月)

入場無料



メイン会場：屋久島離島開発総合センター(宮之浦)
5日講演会/映画上映：屋久島環境文化村センター(宮之浦)

テーマセッション

～映画上映～

11/7(土) 1 「黒潮がつなぐ古代杉の世界」 ■屋久島研究講座

屋久杉を含めた隠岐島や佐渡島に現存する樹齢を重ねた「異形のスギ」を「古代杉」と名づけてみたい。屋久杉にまつわる謎はただ屋久島のスギを研究しているだけでは解明できず、最終氷期最盛期に残存していた他の地域のスギとの比較によって理解できる部分もあるはずだ。各地の古代杉の特殊性と共通性について専門家を交えて比較し、その情報交流を通して屋久杉についての理解を深める。

佐渡島：崎尾均(新潟大学農学部・附属フィールド科学教育センター佐渡ステーション)
隠岐島：久保満佐子(島根大学生物資源科学部)
年代解析：佐々木尚子(京都府立大学大学院生命環境科学研究科)
木村勝彦(福島大学共生システム理工学類)

11/6(金) 「スケッチオブミヤーク」

■監督：大西功一
宮古島で歌いつがれてきた神歌の世界を描いた記録映画

11/8(日) 「久高オデッセイ第三部風章」

■監督：大重潤一郎
沖縄島の東に浮かぶ「神の島」と崇められてきた久高島の記録映画

11/8(日) 2 「屋久のお岳をおろかに思うなよ」

■屋久島研究講座

■2-1 「古謡『まつばんだ』の源流を探る」
演奏：宮城竹茂(琉球古典音楽野村流松村統絃会)
講演：杉本信夫(作曲・沖縄伝承音楽研究)
お話：野呂正和(元屋久島高校音楽教師)
うた：まつばんだ受け継ぎ隊 地元歌者

屋久島に古くから伝わる古謡「まつばんだ」に焦点をあてる。この歌は琉球音律が色濃く、古代からの黒潮に乗った交流により琉球音律が北上し屋久島に定着して歌いつがれてきたと思われる。しかし残念なことに今ではほとんどすたれかけている。また、湯泊に伝わる伝統芸能「傘踊り」の音律も琉球音楽に起源を持つ。古謡「まつばんだ」のルーツを求め、屋久島と琉球との交流の歴史やつながりを探りながらこの歌を屋久島の貴重な遺産として復活させ、芸能を通じた琉球弧の文化的な伝播の一端を明らかにしたい。

■2-2 基調講演「聖なる島・屋久島の可能性」
講演：鎌田東二(京都大学こころの未来研究センター)

■2-3 座談会「屋久島の自然信仰『岳参り』」
登壇：鎌田東二、岳参りを行っている集落の中から、永田・吉田・宮之浦・楠川・湯泊・栗生の方々

古来、琉球弧を行き交う交易船は、屋久島のお岳を航海上の重要な目印とし、水量が豊かな川で台風をやり過ごす避難所と認識していた。一方、屋久島の各集落では大切な行事として「岳参り」が受け継がれてきた。この神仏習合の行事は、海とお岳を結んで豊穰と繁栄を願うひとつの信仰のかたちであった。聖なる島・屋久島である。今なお屋久島頂上部の巨岩や屋久杉の巨木は、わたしたちに自然への畏敬の念を抱かせ、それはアニミズムに通じるものがある。科学技術という神話を単純には信じることのできない現在、聖なる島・屋久島の新しい可能性を探りたい。

●主催：屋久島学ソサエティ/第30回国民文化祭・かごしま2015 屋久島町実行委員会
●共催：京都大学 霊長類学・ワイルドライフサイエンス・リーディング大学院
公益財団法人屋久島環境文化財団

第30回国民文化祭
かごしま2015
平成27年10.31(日)～11.15(日)

5(木) ■屋久島研究講座

「黒潮めぐる南西諸島の地質と成り立ち
—プレート・マグマ・屋久島・口永良部島—

安間 了 (筑波大学生命環境科学研究科)

人・物・文化の経路となった南西諸島はなぜ弧状に連なるのか。島々の成り立ちをプレートとマグマからひも解く

7(土)

「攻める健康法」
～80才・エベレスト登頂～

三浦 雄一郎

プロスキーヤー・クラーク記念国際高等学校校長

80歳で3度目の世界最高峰エベレスト登頂に成功 史上最高齢記録

学ばって楽しい!

ポスター発表 7(土)・8(日)

知りたい、聞きたい人、研究する人
お互いが学びあう交流の場

屋久島学ソサエティ会員の研究者や住民が様々な分野の成果をポスターにより発表します。コアタイムは発表者が直接説明する時間です

8(日)

溪畔林研究会シンポジウム

溪流沿いに繁茂する森林、溪畔林(けいはんりん)や河畔林などの水辺林を研究テーマにする自主的な研究組織が水辺林に関するシンポジウムを開催します



●プログラム

●エクスカージョン

自然観察会

●11月5日(木)

18:30～20:30 ■講演会「黒潮めぐる南西諸島の地質と成り立ち—プレート・マグマ・屋久島・口永良部島—」
■場所: 屋久島環境文化村センター映像ホール

●11月6日(金)

18:30～20:30 ●映画「スケッチオブミヤーク」
ロカルノ国際映画祭(2011年スイス)批評家週間賞受賞
●場所: 屋久島環境文化村センター映像ホール

●11月7日(土)

10:00～10:20 ■開会
10:30～12:00 ■講演会 ■三浦雄一郎
13:00～15:00 ■テーマセッション1「黒潮がつなぐ古代杉の世界」
15:00～15:30 ■ポスター紹介タイム(ホール)
15:30～16:30 ■ポスターセッションコアタイム(ロビー)
■場所: 屋久島離島開発総合センター

●11月8日(日)

9:30～12:00 ■溪畔林研究会
13:00～17:50 ■テーマセッション2「屋久のお岳をおろかに思うなよ」
13:00～15:15 ■2-1「古謡『まつばんだ』の源流を探って」
15:30～16:10 ■2-2 基調講演「聖なる島・屋久島の可能性」
16:10～17:30 ■2-3 座談会「屋久島の自然信仰『岳参り』」
■場所: 屋久島離島開発総合センター
18:30～20:30 ●映画「久高オデッセイ第三部 風章」
●場所: 屋久島環境文化村センター 映像ホール

入場無料

11月6日(金) 13:00～17:00

①「屋久杉の森と歴史～ヤクスギランド」
400年間の伐採の痕跡から、森と人間とが影響し合ってきた屋久島の歴史を読み取る (定員12名)
■講師: 吉田茂二郎(九州大学農学研究院) / 小原比呂志(屋久島野外活動総合センター)

②「屋久島の基盤岩とマグマ大岩脈」
屋久島の基盤岩「日向層群」と生痕化石群。屋久島誕生期のマグマの大岩脈「落ノ川石英斑岩」を訪ねます (定員10名)
■講師: 安間了(筑波大学生命環境科学研究科) / 中川正二郎(屋久島地学同好会)

11月9日(月) 8:00～12:00

③「アサギマダラマーキング会」【自然に親しむ集い】
旅をするチョウ、アサギマダラ。屋久島でマークしたチョウが、さらに南で再捕獲されるかもしれません (定員20名)
■講師: 久保田義則(鹿児島昆虫同好会) / 金井賢一(鹿児島県立博物館)

④「西部地域の動物と森」

屋久島西部地域には、野生のサルやシカがたくさんいます。林道沿いのサルやシカを、じっくり観察します (定員10名)
■講師: 杉浦秀樹(京都大学野生動物研究センター) / 藤田志歩(鹿児島大学共同獣医学部)

エクスカージョン参加費

①, ②: 会員 2,000円 / 非会員 3,000円

③, ④: 200円

【要申込】

●屋久島学ソサエティ第3回大会 事務局 <http://yakushimagakusociety.hateblo.jp/>

■屋久島学ソサエティ事務局 手塚田津子 TEL/FAX 0997-44-2965 yattaneyoca@ml.j-bee.com

■屋久島町環境政策課 岩川卓誉 TEL 0997-42-0100 (代) kankyo@yakushima-town.jp

第30回国民文化祭
かごしま2015
平成27年10.31～11.15

屋久島学ソサエティ
会員募集中!

古謡「まつばんだ」歌い手募集!